

平成28年度 ものづくりイノベーション支援プロジェクト 認定案件の概要

◆連携型開発枠 7件

※五十音順

計画名称	MSE 攪拌子の開発
共同事業体 代表者（所在地）	アイセル株式会社（八尾市）
支援機関（所在地）	国立大学法人京都工芸繊維大学（京都府京都市）
計画の概要	MSE 攪拌子は実験室における容器内の流体の混合において従来の攪拌子と比較して格段に速く、均一に容器全体の流体を混合することができる。MSE 攪拌子の設計・試作を行い仕様を決定し、さらに実験用途以外での需要も調査する。
認定期間	平成28年6月21日から平成31年3月15日まで

計画名称	低侵襲心臓手術に用いる拡張型フレキシブル心内展開鉤の開発
共同事業体 代表者（所在地）	株式会社オーゼットケー（八尾市）
支援機関（所在地）	公立大学法人大阪市立大学（大阪市）
プロジェクト構成員 （所在地）	株式会社ユニメディック（大阪市）
計画の概要	従来の牽引型の心内展開鉤では手術操作に支障が生じることがあり、心内で拡張が可能なフレキシブル心内展開鉤を開発することとした。フレキシブル金属素材を選択し、心内操作を容易にする器械形状の工夫およびアプライヤーの開発を行う。
認定期間	平成28年6月21日から平成30年3月31日まで

計画名称	ヒューパー針用 安全抜針器の開発
共同事業体 代表者（所在地）	テクノグローバル株式会社（八尾市）
支援機関（所在地）	公立大学法人奈良県立医科大学（奈良県橿原市）
プロジェクト構成員 （所在地）	シーマン株式会社（大阪市）
計画の概要	現在、市販されている動・静脈用ポート用穿刺針（ヒューパー針）による針刺し事故は毎年多数報告されている。中には針刺し防止機構を保持する穿刺針もあるが、その構造の複雑性から評価は低く臨床の現場からは改良の声があがっているのが現状である。今回、我々は誰もが簡単に使用する事ができ、針刺し事故を防止する機能を有した抜針器の検討開発を行う。
認定期間	平成28年6月21日から平成30年3月31日まで

計画名称	精密切削加工技術を用いた、医療用カテーテルへのガイドワイヤ通線を飛躍的に容易にする器具の開発
共同事業体 代表者（所在地）	ハリキ精工株式会社（大阪市）
支援機関（所在地）	シップヘルスケアホールディングス株式会社（吹田市）
プロジェクト構成員 （所在地）	学校法人藍野学院藍野大学（茨木市） 大阪商工会議所（大阪市）
計画の概要	血管系疾患に対するカテーテル治療は、細径化によりその治療範囲が拡大している一方、管にワイヤを通す作業など、準備段階から精緻な作業が求められ、時間的かつ安全面でリスクが顕在化している。本技術開発では精密切削加工技術を用い、その課題を根本的に解決する器具を開発する。
認定期間	平成28年6月21日から平成31年3月31日まで

計画名称	医療用途向け精密塑性加工技術の開発
共同事業体 代表者（所在地）	株式会社丸エム製作所（大阪市）
支援機関（所在地）	国立大学法人名古屋大学（愛知県名古屋市）
プロジェクト構成員 （所在地）	株式会社新日本テック（大阪市）
計画の概要	精密塑性加工技術を開発することで、医療用途として要求される高精度・高品質な製品を開発する。また、大学との連携によって開発された表面活性化制御技術を活用し、製品の高機能化を達成する。
認定期間	平成28年6月21日から平成31年3月15日まで

計画名称	ヒト常在細菌叢を標的とした、美肌成分の開発
共同事業体 代表者（所在地）	株式会社桃谷順天館（大阪市）
支援機関（所在地）	国立大学法人岡山大学（岡山県岡山市）
計画の概要	ヒトの常在細菌叢と肌状態の関連を明らかにするとともに、肌の細菌バランスを整えることで美肌に導く素材、そして商品の企画・開発を行う。
認定期間	平成28年6月21日から平成30年11月30日まで

計画名称	室外GPS信号を応用した空間位置精度±3cm以下のドローン制御システムの開発
共同事業体 代表者（所在地）	八洲電業株式会社（大阪市）
支援機関（所在地）	独立行政法人国立高等専門学校機構奈良工業高等専門学校（奈良県大和郡山市）
計画の概要	<p>日本版GPS衛星「みちびき」を利用した測位精度は約1mであり、これが限界であった。</p> <p>本技術開発では高精度位置制御用地上局と受信機のインターフェースシステム開発による±3cm以内の空間位置精度を実用化し実際にドローン制御に用いる事を目標とする。</p> <p>○技術開発の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 空間位置精度±3cmの実現 2. 低コスト化の実現 3. 制御インターフェース基板の開発（ドローンの制御の高度化・多様化に繋がる）
認定期間	平成28年6月21日から平成31年3月15日まで

◆基盤技術開発枠 4件

計画名称	学習型アルコール検査機器の開発
共同事業体 代表者（所在地）	株式会社スタッフ（門真市）
支援機関（所在地）	守口門真商工会議所（門真市）
計画の概要	<p>単に体内のアルコール濃度を測定するだけの既存機器ではなく、w i e f i機能搭載型SDカードであるFlashAirを使い測定値をスマートフォンに転送し情報管理を可能にする。さらに専用アプリで管理された情報をクラウド上にアップロードすることで日々の飲酒管理を可能にし、自動車運転時の安全管理を行う。また専用ソフトが飲酒時に本体に搭載された有機ELディスプレイに飲酒抑制をアドバイスし健康管理をおこなう。前述の内容をソフト・回路・筐体に反映させ製品化する。</p>
認定期間	平成28年6月21日から平成29年1月31日まで

計画名称	洗浄・改質に用いる極紫外光源搭載光表面処理装置の開発
共同事業体 代表者（所在地）	セン特殊光源株式会社（豊中市）
支援機関（所在地）	尼崎信用金庫（兵庫県尼崎市）
プロジェクト構成員 （所在地）	株式会社NTP（宮崎県宮崎市）
計画の概要	これまで極紫外光源（Xeエキシマランプ）搭載光表面処理装置はユーザーごとに都度製作していたが、コストやテスト期間等が課題となり、事業化の目途が立つまでに時間が掛かったり、導入自体を見送られたりしていた。 そこで、汎用性のある装置を開発することで、テスト期間の短縮・低コスト化を実現し、用途開拓を容易にすることでFPD・半導体及び医療業界での事業展開を目指す。
認定期間	平成28年6月21日から平成29年3月31日まで

計画名称	薬剤を用いない殺菌水の技術開発
共同事業体 代表者（所在地）	日新技研株式会社（東大阪市）
支援機関（所在地）	学校法人関西大学（吹田市）
プロジェクト構成員 （所在地）	国立大学法人大阪大学産業科学研究所（茨木市）
計画の概要	当社開発の高濃度酸素水発生装置で精製した水を用いた研究結果より、黒コウジカビを除菌することができた。食品には食品添加物と称し薬品も使われているが、技術開発を早期に確立させ、安心安全に使用できる新しい機能水を提供できるようにする。
認定期間	平成28年6月21日から平成31年3月31日まで

計画名称	音声疲労測定器の研究開発
共同事業体 代表者（所在地）	株式会社プロアシスト（大阪市）
支援機関（所在地）	独立行政法人国立高等専門学校機構奈良工業高等専門学校（奈良県大和郡山市）
計画の概要	奈良高専松村准教授は音声で疲労を測定する方法を研究している。これを応用した非接触型の疲労測定システムを実現することにより、疲労による交通事故、危険作業現場や医療現場での事故の削減が図られ、安心安全な日本社会に貢献できる。
認定期間	平成28年6月21日から平成31年3月15日まで

【参考：実施事業の概要】

1. 事業名称 ものづくりイノベーション支援プロジェクト

2. 事業概要

環境・新素材などの成長有望分野における中小企業者の技術開発の取組みを「ものづくりイノベーション支援プロジェクト」として認定し、事業の研究開発や設計・試作、または特許・市場調査などの取り組みに要する経費の一部を助成するなど、事業化に向けてサポートする。

3. 対象要件

- ・府内に主たる事業所を有し、中小企業基本法第2条第1項第1号に規定する製造業に属する事業を主たる事業として営む者。ただし、みなし大企業は除く。
- ・大阪ものづくりイノベーションネットワークに参画する企業会員と支援機関会員との共同事業体であること。

4. 支援メニュー

(1)ものづくりイノベーション支援助成金

事業名		助成額	助成率	採択予定 件数
連携型開発枠	研究機関等または異業種・異分野の事業者と連携し、技術や 実用化に高い評価を得たもの	上限 200万円	2分の1 以内	5件程度
基盤技術開発枠	成長有望分野を支えるものづくり基盤技術の開発	上限 150万円	2分の1 以内	3件程度

(2)大阪府制度融資（池田泉州銀行）、北おおさか信用金庫による資金融資